

日本ジオパークに新しい仲間が誕生！

2022 年 1 月、新しく日本ジオパークに認定されたのは、北海道の「十勝岳ジオパーク」と、長崎県の「^{ことう}五島列島（^{しもことう}下五島エリア）ジオパーク」2つです。これで日本ジオパークは46地域になりました。

^とかち^{だけ} 十勝岳ジオパーク

北海道の^{びえい}美瑛町・^{かみふらの}上富良野町がエリア。波打つように広がる丘陵景観は、北海道を代表する風景の一つ。これは200万年という長い時間をかけ、十勝岳～大雪連峰付近で起こった大規模噴火の火砕流堆積物が積み重なってつくられた地形です。

1926年の十勝岳噴火では、泥流が周囲の雪を溶かしたことで被害が拡大。農地を埋め尽くし144名もの犠牲者を出しました。

作家・三浦綾子が小説『泥流地帯』で当時の様子を伝えています。

噴火災害の経験と、農業地帯への復興・発展を遂げた歴史があり、減災教育や農業に関する地域学習にも取り組んでいます。

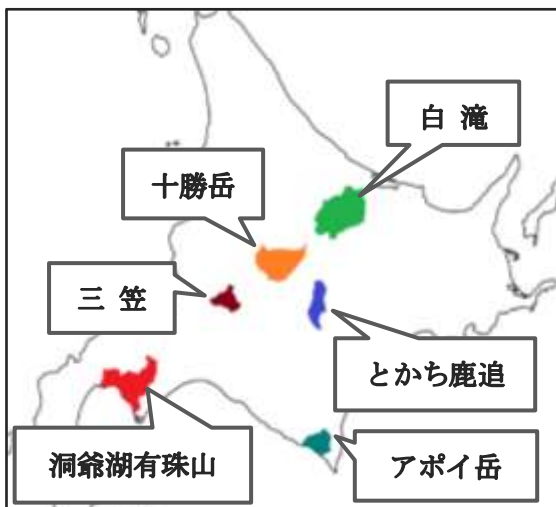


望岳台展望台から見える十勝岳



ライトアップされた「青い池」

北海道の日本ジオパーク (2022.2 現在)



北海道にある日本ジオパークは
全部で6地域になりました！

^{ことう} 五島列島（^{しもことう}下五島エリア）ジオパーク

鹿児島県西部に位置し、11の有人島と52の無人島で構成される五島市のほぼ全域がエリア。約2200～1700万年前に堆積した大陸由来の砂泥と約100万年前から活動した火山による溶岩台地が基となっています。

古来より東シナ海交易の拠点であり、遣唐使や倭寇、潜伏キリシタンに関わる歴史もあるエリアです。



大陸由来の砂泥が見られる断崖